



平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マルゼン

コード番号 5982 URL <http://www.maruzen-kitchen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡邊 恵一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 萬貫 房男

TEL 03-5603-7755

四半期報告書提出予定日 平成27年7月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第1四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	12,312	6.1	1,160	△5.5	1,280	△3.4	734	△2.9
27年2月期第1四半期	11,599	1.0	1,228	△1.7	1,326	0.5	757	1.7

(注) 包括利益 28年2月期第1四半期 944百万円 (15.6%) 27年2月期第1四半期 816百万円 (△5.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第1四半期	39.36	—
27年2月期第1四半期	40.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第1四半期	44,156	26,743	60.6	1,432.31
27年2月期	43,150	26,006	60.3	1,392.83

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 26,743百万円 27年2月期 26,006百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
28年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,490	△1.7	1,931	△4.9	2,108	△4.5	1,195	△5.2	64.00
通期	44,100	△0.4	3,550	△2.8	3,880	△2.7	2,200	△2.0	117.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期1Q	19,780,000 株	27年2月期	19,780,000 株
② 期末自己株式数	28年2月期1Q	1,108,237 株	27年2月期	1,108,237 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期1Q	18,671,763 株	27年2月期1Q	18,672,040 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料]P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成27年3月1日～平成27年5月31日）における我が国の経済は、政府や日銀による経済・金融政策を背景として、企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復傾向で推移いたしました。一方、当社グループを取り巻く外食・中食産業、また製パン業界におきましては、消費者の節約志向が長期化する中で、円安に伴う原材料高や人手不足など、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は123億12百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は11億60百万円（同5.5%減）、経常利益は12億80百万円（同3.4%減）、四半期純利益は7億34百万円（同2.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①業務用厨房部門

主たる事業の業務用厨房部門では引き続き、全国のあらゆる業種業態のお客様に対して、3,500種類を誇る豊富な自社オリジナル製品をベースに、ご提案書を活用したソリューション営業や販促キャンペーン、イベント活動等の販促活動に取り組んでまいりました。また、お客様の安心安全と顧客満足度の向上に不可欠なメンテナンスサービス体制につきましても、日々の迅速・確実な修理対応に努めるとともに保守契約の促進に注力してまいりました。

なお、厨房部門では将来的に100カ所の販売事業所体制を目指しており、このたび平成27年3月に大阪府東部エリア強化のため東大阪営業所を開設いたしました。

以上の結果、売上高はスタート月である3月に昨年の消費税増税前の駆け込み需要に対する反動等がありましたが、その後の月に取り戻したこと等により112億14百万円（前年同期比1.5%増）となりました。営業利益は、競合による荒利低下、製造部門での円安に伴う原材料・部品の値上がり等により11億28百万円（同16.0%減）となりました。

②ベーカリー部門

ベーカリー部門では、前期に発売を開始した製パン工場向けの大型新製品「分割機」と「丸め機」2シリーズをきっかけとして、国内製パンメーカーに対する訪問活動はもとより、売上拡大に向けて異業種の各種食品メーカーや東南アジア地域を中心とした海外製パンメーカーの新規開拓に取り組んでまいりました。当第1四半期連結累計期間につきましては、国内にて大型物件があったこと等により、売上高は9億69百万円（前年同期比138.4%増）、営業利益は1億1百万円（前年同期は営業損失43百万円）となりました。

③ビル賃貸部門

5物件を有する土地と資金の有効活用を目的としたビル賃貸部門の業績は計画通り推移し、売上高は1億48百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は99百万円（同1.6%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産残高は、前連結会計年度末に比べ10億6百万円増加の441億56百万円となりました。

資産の部は、流動資産において売掛金の回収が順調で現金及び預金が増加したこと等により7億54百万円増加し、固定資産は投資有価証券の評価額の増加等により2億52百万円増加しました。

負債の部は、支払手形及び買掛金の増加等により前連結会計年度末に比べ2億69百万円増加の174億12百万円となりました。

純資産の部は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したこと等で、前連結会計年度末に比べ7億37百万円増加し267億43百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の連結業績予想につきましては、平成27年4月10日付公表の「平成27年2月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が31,857千円増加し、利益剰余金が20,503千円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,471,416	15,644,164
受取手形及び売掛金	8,260,849	7,792,728
商品及び製品	1,754,211	1,696,887
仕掛品	378,152	428,731
原材料及び貯蔵品	886,719	996,615
その他	620,995	567,319
貸倒引当金	△5,810	△5,852
流動資産合計	26,366,534	27,120,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,097,085	15,133,360
減価償却累計額	△8,760,095	△8,846,290
建物及び構築物 (純額)	6,336,989	6,287,070
土地	6,839,741	6,839,741
建設仮勘定	5,184	73,984
その他	6,932,360	7,035,344
減価償却累計額	△5,748,075	△5,817,389
その他 (純額)	1,184,284	1,217,955
有形固定資産合計	14,366,200	14,418,751
無形固定資産	36,513	41,292
投資その他の資産	2,381,003	2,575,804
固定資産合計	16,783,716	17,035,848
資産合計	43,150,250	44,156,443

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,400,910	9,963,796
短期借入金	1,500,000	1,500,000
未払法人税等	941,900	653,466
賞与引当金	581,000	314,000
役員賞与引当金	49,408	12,352
その他	2,142,292	2,275,445
流動負債合計	14,615,511	14,719,060
固定負債		
役員退職慰労引当金	253,600	261,750
退職給付に係る負債	1,604,316	1,640,990
その他	670,181	790,925
固定負債合計	2,528,098	2,693,666
負債合計	17,143,609	17,412,726
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,164,950	3,164,950
資本剰余金	2,494,610	2,494,610
利益剰余金	24,649,946	25,177,647
自己株式	△597,139	△597,139
株主資本合計	29,712,367	30,240,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	960,094	1,146,684
土地再評価差額金	△4,584,527	△4,565,736
退職給付に係る調整累計額	△81,293	△77,299
その他の包括利益累計額合計	△3,705,726	△3,496,352
純資産合計	26,006,640	26,743,716
負債純資産合計	43,150,250	44,156,443

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成26年3月1日 至平成26年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成27年3月1日 至平成27年5月31日）
売上高	11,599,761	12,312,923
売上原価	7,982,031	8,674,520
売上総利益	3,617,730	3,638,402
販売費及び一般管理費	2,389,013	2,477,666
営業利益	1,228,716	1,160,735
営業外収益		
受取利息	1,996	1,631
受取配当金	18,341	38,688
固定資産賃貸料	7,434	7,638
仕入割引	35,919	40,615
作業くず売却収入	32,151	29,492
その他	6,382	5,903
営業外収益合計	102,226	123,970
営業外費用		
支払利息	2,363	1,910
売上割引	1,416	1,492
その他	444	347
営業外費用合計	4,224	3,749
経常利益	1,326,718	1,280,956
特別利益		
固定資産売却益	3,329	—
特別利益合計	3,329	—
特別損失		
固定資産除却損	77	206
特別損失合計	77	206
税金等調整前四半期純利益	1,329,971	1,280,750
法人税、住民税及び事業税	702,878	644,567
法人税等調整額	△130,054	△98,739
法人税等合計	572,824	545,828
少数株主損益調整前四半期純利益	757,146	734,922
四半期純利益	757,146	734,922

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	757,146	734,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59,537	186,590
土地再評価差額金	—	18,790
退職給付に係る調整額	—	3,993
その他の包括利益合計	59,537	209,374
四半期包括利益	816,684	944,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	816,684	944,296
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	業務用厨房機 器製造販売業	ベーカリー機 器製造販売業	ビル賃貸業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,052,645	399,131	147,984	11,599,761	—	11,599,761
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	7,623	—	7,623	△7,623	—
計	11,052,645	406,754	147,984	11,607,384	△7,623	11,599,761
セグメント利益又は損失 (△)	1,343,891	△43,523	98,397	1,398,764	△170,048	1,228,716

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△170,048千円には、セグメント間取引消去30,000千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△200,048千円が含まれております。なお、全社費用の主な内容については、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	業務用厨房機 器製造販売業	ベーカリー機 器製造販売業	ビル賃貸業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,214,886	949,816	148,220	12,312,923	—	12,312,923
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	20,076	—	20,076	△20,076	—
計	11,214,886	969,893	148,220	12,332,999	△20,076	12,312,923
セグメント利益	1,128,560	101,154	99,946	1,329,660	△168,925	1,160,735

(注) 1. セグメント利益の調整額△168,925千円には、セグメント間取引消去30,000千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△198,925千円が含まれております。なお、全社費用の主な内容については、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。